

日本マクロエンジニアリング学会第 37 回冬季研究大会 開催報告

2019 年 12 月 21 日(土)、日本工業大学神田キャンパス 3F 多目的ホールにおいて、日本マクロエンジニアリング学会第 37 回冬季研究大会が開催されました。日本マクロエンジニアリング学会は『研究、発表、実装を通じ、社会に貢献する』ことを旨とし、第 37 回冬季研究大会では、インフラ整備の源泉となる“開発思想”、“人材育成”、およびエネルギー/環境問題の解決策となる“低温スターリングエンジン”の発表がありました。

寒暖が激しく、インフルエンザなどが危惧される中、8 名（準会員 2 名含む）の方にご参加いただき、少数精鋭で活発な質疑応答がございました。



会場：日本工業大学神田キャンパス



会場全景

開会の挨拶：日本マクロエンジニアリング学会 副会長 小島 紀徳

開会の挨拶は茂木会長所用につき、小島副会長がプログラムの紹介とともに、日本マクロエンジニアリング学会は「研究、発表、実装を通じ、社会に貢献する」ことを旨とし、たまたま日本マクロエンジニアリング学会とは何か？キャッチフレーズを募集している旨、紹介されました。



開会の挨拶：日本マクロエンジニアリング学会副会長 小島 紀徳

発表 1：「開発思想の系譜～社会資本の変遷から『成長の限界』の本質を考える～」鳴尾眞二 ((株)鳴尾総合研究所)

国の開発計画（国防、産業・経済、国土、地域開発）、全国総合開発計画、総合政策（国土計画、地域計画）をさかのぼり、時代背景に応じた開発⇒公共投資⇒社会資本形成⇒経済成長過程を概観された上で、社会関係のシフトする中、持続可能な開発に応える社会資本に求められる内容の変化を踏まえ、新たな社会資本への新国富指標を提案されました。

社会/経済/環境/価値観が激変する中、漠然としたあるべき姿とその指標を考察する日本マクロエンジニアリング学会ならではの研究で、前提条件も分析した上で益々の進展を期待したいと存じます。



「開発思想の系譜～社会資本の変遷から『成長の限界』の本質を考える～」鳴尾眞二 ((株)鳴尾総合研究所)

発表 2：「公民連携手法による次世代人材育成のためのプラットフォーム創設に関する一考察」 新田義修（岩手県立大学）

地方経済が停滞し地域振興が渴望される中、町では、大学生の実践型インターンシップ、地域おこし協力隊、リノベーションまちづくりなど、若年層をターゲットとした事業を展開してきましたが、行政主体の起業家育成には限界が見え始めたことから、地域の多様な主体と連携し、公民連携手法による新たなプラットフォームを創設する必要があり、そのプラットフォームの拠点施設として、町の中央部にある商店街において遊休不動産をリノベーションしたインキュベーション施設の整備を検討中とのことでした。ビジネスモデルの新しさだけでなく、新たな価値観、地域連携が模索されていて、JAMES 経営の参考にもなりました。

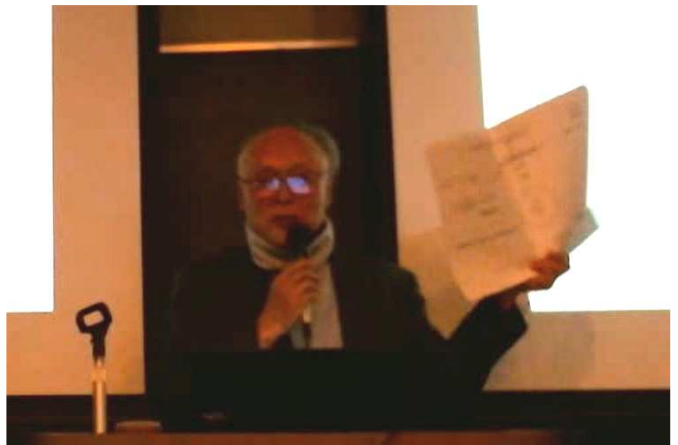


「公民連携手法による次世代人材育成のためのプラットフォーム創設に関する一考察」
新田義修（岩手県立大学）

発表 3：「低温スターリングエンジンの設計」 辻目英正（(株)デザインウォーター）、八木田浩史（日本工業大学）、小島紀徳（RIMEP）

Cool Tokyo（東京を冷やす）Stag II（2018年10月20日）における「100℃未満の熱源で効率的に発電する低温スターリングエンジンの開発（特徴/開発の意義と計画）」に続く第二弾で、実験機の設計、実験計画について報告がありました。

予算、構造（真円度他）、工法などに様々な制約のある中、マクロエンジニアリング学会の先生方から多くの分野からのアドバイスをいただき、検討を重ねた成果（マクロエンジニアリングのアプローチ）として、所要の性能目標値をクリアできること、実験に基づく最適化過程および普及機の見通しを発表されました。



「低温スターリングエンジンの設計」
辻目英正（(株)デザインウォーター）

総合討論および閉会の挨拶：日本マクロエンジニアリング学会 理事長 角田 晋也

各発表を関連付ける方法論的な質疑応答が交わされた後、角田理事長は社会実装に際し、更なる研究を継続することを期して閉会の挨拶とされました。

反省会：

和食、洋食、中華を散々迷った挙句、近く中華料理店で紹興酒をいただきながら、反省会がございました。マクロエンジニアリングらしい意欲的な研究発表のあと、今後の展開を期しました。

今回の研究大会は日本/世界経済/社会の停滞、蔓延るプロパガンダや対抗すべき価値観が錯綜したところに一筋の閃光、加えて日本マクロエンジニアリング学会の発展の端緒になればと、期待への充足感、参加できた満足感を味わえました。継続は力也です。



閉会の挨拶：日本マクロエンジニアリング学会
理事長 角田 晋也